

大垣市議会議員 種田昌克の 活動報告

「はなしの種」 Vol.2



未来に向けた
種を蒔きます

発行：おいだ昌克後援会
事務所：大垣市二葉町 8-6-1
TEL/FAX：0584-77-2288
ホームページ：<https://oida-masakatsu.jp/>
E-mail：info@oida-masakatsu.jp



令和3年第3回定例会（2021.9.6～9.24）

種田昌克の 議会報告と一般質問



通学路のカラー舗装工事



▼通学路のカラー舗装工事をしました。「赤色舗装」は、主に一般車両に対する事故対策のために使われています。丁字路が重なり合った箇所、信号の無い交差点など、全体に危険な箇所を周知させる目的で施工されています。また、通学路を分かり易くするために路側帯には「緑色のカラー舗装」をしました。今回施工したところは、車の往来が多く、登校する児童の列とスレスレの所を車が走るため、いつもヒヤヒヤしている箇所でもあります。運転者の方への注意喚起となることを願っております。



こども食堂について



▼1989年、国連「子どもの権利条約」が採択され、現在196の国と地域が締結し、子どもを“大切な存在”と位置づけている。また、厚生労働省の調査（複数回答可）によると、子どもが放課後に過ごす場所は、①自宅85.6%、②親戚等の家8.6%、③友達の家23.4%、④学童保育15.3%、⑤習い事38.6%、等で、一緒に過ごす人はという質問では、①ひとり15%、②友達57.7%、③家族78.3%、④親戚等10.7%、⑤家族以外の大人7.5%等となっている。これらのデータから、大垣市においても「子どもたちが



1人である」実態が少なからずあり、安心して過ごすことのできる居場所の確保が必要であるといえる。

▼全国的に、「**こども食堂**」が、こうした居場所としての機能を果たしており、令和2年末時点で、全国で5,000か所以上、大垣市内においても複数のこども食堂が活動している。また、地域の子どもからその親たち、そして高齢者までが集える「地域づくり」の場となりつつあり、子どもと高齢者が一緒に過ごすことによる相乗効果も生まれている。しかし、こども食堂は、民間でやっているがゆえの強みがある一方、いつまで続くのかわからない不安定な活動という見方もある。市ではこども食堂にどのような支援を検討しているのか。

A 運営団体が継続的に活動していただけるよう、担当部局に他市の状況を調査し、本市に合った支援策を検討するよう指示し、協議を進めている。←**大きな前進です!**

POINT

平成24年に東京の八百屋さんがはじめたのがはじまりです。「子どもが一人でも行ける場所は、大人が考えているよりずっと少ない。だから、子どもたちに『あなたが来てほしいんだよ』と呼び掛けるために、こども食堂という名前をつけたそうです。



地域とともにある学校づくりについて



▼現在、大垣市においては、「学校評議員会」が市内の全小中学校に設置されているが、法改正により、すべての公立学校が学校運営協議会制度を設置し、**コミュニティ・スクール**とすることが努力義務化された。運営協議会は校長及び地域住民や保護者などから構成され、地域全体でより良い学校づくりを行うことを目指すものである。一方、コミュニティ・スクールでは、学校を開放して、地域住民を対象とした講座の開催など、子どもたちと大人が学んだり、人々が集い、学校を核とした生涯にわたって学び合う「社会教育の場（スクール・コミュニティ）」をつくることも可能となる。今後の市の「学校運営協議会制度」に関する取り組みについて伺う。



「学校運営協議会」は、平成16年度に制度化されたもので、本市では導入していない。なお、県内では、「学校運営協議会」を設置している小中学校があるが、本市では、中学校を選択制としている小学校区（安井小）があること、自治会と学校区が必ずしも一致していないこと、「学校運営協議会」の設置には、地域住民の協力が必要であることなど、多くの課題があるので、全小中学校一律での制度導入は考えていない。

POINT

「学校評議員会」から「学校運営協議会」に移行するメリット（文部科学省パンフレットより）
・法的に位置づけられたコミュニティ・スクールにおいて、学校運営協議会の委員は、学校評議員にはなかった権限と責任をもち、学校と「対等な立場」で学校運営の当事者として協議を行うことができる立場となり、保護者や地域の意見が反映されることで、学校運営の改善・充実が期待できる。
・保護者、地域、学校において、共通の目標やビジョンを目指した取組が可能となる。
・コミュニティ・スクールの機能である「校長が作成する学校教育ビジョンの承認」を通じ、保護者や地域の方の理解と協力を得た風通しのよい学校運営が可能となる。

岐阜県内の導入率は、62.6%です。（令和2年7月現在）

「学校運営協議会」と「学校評議員会」の比較

	学校運営協議会 (コミュニティ・スクール)	学校評議員会
導入時期	2004年（平成16年）9月	2000年（平成12年）4月
根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5	学校教育法施行規則第49条
任命等	教育委員会が定める規則に基づいて教育委員会が任命	校長の推薦により教育委員会が委嘱
役割	校長及び教育委員会が行う学校運営や教職員人事について関与する ※法令に基づく役割が明確化	校長の求めに応じ、個人として意見を述べる。（学校の運営に関して何らかの決定などを行うものではない）
運営方針の継続性	校長の異動による影響はない	校長の異動に左右される



子どもの読書活動推進等について



文部科学省によると、公立校の学校図書館の1人当たり年間貸出冊数（令和元年度）は小学校49冊、中学校9冊となっている。読書活動により、読解力はもちろん、豊かな感性を養い、また幅広い知識を獲得することができるため、子どものころから読書に親しむ習

慣をつけることが大切である。市の取り組みを伺う。

A 次代を担う子どもが、読書活動を通して、夢や希望を思い描き、成長していく力を育んでいけるよう、「読み聞かせの会」の開催、4カ月児の健康診査時に、絵本や読書ノートが入ったオリジナルバックを手渡す「ブックスタート」の実施、小学校の図書室との連携による「学校図書館まつり」などを行っている。また、児童図書に関する情報発信については、新刊の児童図書を案内する「ポケット」を発行している。

POINT
▼新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛などで、24.9%の若者が読書量が増えたとの調査結果があります。また、59.7%の若者が読書が「好き」と答えています。

ひまわり学園の移転改築の延期

▼障害児童通所支援施設「ひまわり学園」（禾森町）の移転新築事業を1年ほど延期することになりました。旧三城保育園跡地（小野）に新築し、令和5年4月に開所予定でした。延期理由は、県産木材を使う予定ですが、“ウッドショック”によりその木材確保が困難なためです。保護者からの期待が大きい事業です。できるだけ早く実施できるよう取り組んで参ります。

POINT
“ウッドショック”とは、今年の3月頃から、木材不足のため価格が高騰、大きな混乱が生じている状況のことです。国産原木価格は、スギが前年8月比で、1.4倍、ヒノキが2倍に値上がりしています。また、日本で使う木材の7割は輸入材に頼っています。不足の原因としては、コロナ禍でカナダでの木材の伐採が進まないこと、アメリカや中国での建築ラッシュなどが考えられます。

大垣市公設地方卸売市場（古宮町）について

▼西エリア（付属店舗がある方）を東エリア（卸売場棟のある方）に集約します。令和3年度、東エリアに新付属店舗2棟（11店舗・630.70㎡）を整備します。令和4年度は、西エリアにある旧付属店舗を解体撤去します。令和5年に、西エリアの工事を完成させ、産業用地として契約業者に引き渡し、企業誘致につなげ、地域経済の活性化を進めていきます。契約金額724,900,000円



POINT 契約業者は「公募型プロポーザル方式」により選定（令和2年度）されています。公募型プロポーザル方式とは、企画提案書などにより契約締結交渉者を選定する方式です。原則として入札金額の安さが基準となる一般競争入札などと違い、選定にあたっては「質の高さ」や「事業者の経験」などが判断材料となります。市としては、「粗悪な業者が安い価格で入札すること」を避けられるというメリットがあります。

令和3年8月の大雨による被害について

▼8月13日から15日にかけて、前線の影響により、市内全域で総雨量348ミリの激しい雨が降りました。市は13日午後4時30分に災害対策本部を設置しました。市内では、人的被害はありませんでしたが、住家の一部損壊や林道、河川等において被害が発生しました。大垣市内には、32か所の排水機場があります。大雨などで河川の水位が上昇すると、自然排水ができなくなります。その場合、市街地や農地などへの水害を未然に防止するために排水ポンプを運転して、雨水や生活排水などを河川に強制的に排水しています。昼夜問わず運転作業に従事されている操作員さんに、お礼と激励にお伺いしました。



クッションドラム

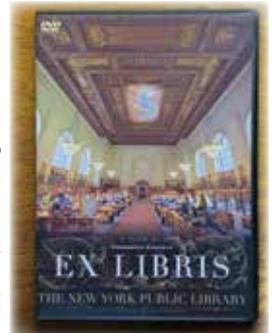
▼大井3丁目の交差点にあるクッションドラムが、なぜかゴミ箱状態になってしまったので、道路管理者である県大垣土木事務所に依頼して取り替えていただきました。
▼クッションドラム（衝突衝撃緩衝具）は、道路の分岐部分や事故多発地点に設置され、衝突・接触事故時の衝撃を緩和し、ドライバーの安全を守るために役立っています。



好書好日 Good Life With Books

「ニューヨーク公共図書館エクス・リブリス」DVD

公共図書館のあり方を考えさせる優れたドキュメントです。
▼巨匠フレデリック・ワイズマン監督の3時間以上の大作です。映画の中で紹介されるさまざまな取り組みにより、図書館はただ本を貸すだけの場所ではなく、いろんな可能性を持っていることがよくわかります。この図書館はNP〇による運営で、行政の支援金と民間の寄付で成り立っています。▼図書館で働く女性は、「図書館は本の置き場ではない。図書館は、さまざまな人が集うハブのような役割があり、教育の場でもある」「かつて“未来に図書館は不要”と言われた。彼らは図書館の進化に気づいていない」と語ります。また、手話通訳者が、ジェファーソン独立宣言を「怒り」と「懇願」の2通りの感情で通訳するエピソードには、同じ言葉でも感情が注入されることによりこんなに手話が違ってくのかと驚きます。蔵書についても図書館で働く人たちは日々悩み、議論しています。「電子本か紙の本か、ベストセラーか推薦図書か、一般図書か研究図書か。予算は限られる。10年先を考えたとき、ベストセラーは無料ではないにせよ何とか手に入れて読むことができる。しかし、我々が所蔵しなければ手に取ることができなくなる本もある。」こうした図書館ならではのジレンマがあることを知ります。3時間半のドキュメンタリーですが、全く飽きない知的刺激に満ちた傑作です。



『リエゾン (1～5巻)』 小学館

診療所を舞台に子どもの発達障害を描いています。発達障害を理解するための最適な入門書でもあります。ADHDやASDという言葉は聞いたことがあっても、詳しくは知らないという方は多いと思います。これらは、決して「障害」ではなく、本書では「凸凹」と呼び、一つの「個性」だと定義付けた上で物語は進められていきます。愛にあふれた素晴らしい作品です。全国に約50万人いるとされる発達障害を持つお子さんの親さんたちに読んで欲しいと思いました。

※ADHD (Attention-deficit/hyperactivity disorder) とは、不注意 (集中力がないなど)、多動性・衝動性 (落ち着きがない、順番待ちができないなど) の2つの特性を中心とした発達障害です。
※ASD (自閉スペクトラム症: Autism Spectrum Disorder) は、対人関係が苦手・強いこだわりといった特徴をもつ発達障害です。